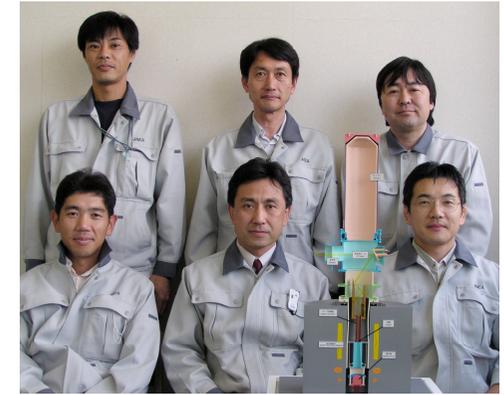




ITER用プラズマ加熱装置で1000秒運転

ITER定常燃焼実験に向けた大きな一歩



- ITER用加熱装置の心臓部である周波数170ギガヘルツの発振器ジャイロトロンにおいて、ITERの標準運転時間である400秒を大きく上回る1000秒間の安定な高周波出力を達成。
- この成果は、①ジャイロトロン内部に散乱する不要な高周波の発生を抑えたこと、②高周波発振を安定化させたこと、③エネルギー源である電子ビームの質を向上させ効率を高めたこと、などの改良に得られた。

後列左から、小守、小林、池田、
前列左から、高橋副主任研究員、
坂本GL、春日井副主任研究員

